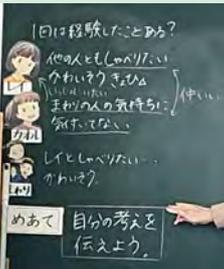


「マンガで考える “みんなのキモチ” これって、いじめ？」

授業展開例【3】(45分)

テーマ	「友だちといつもいっしょはつらい？」(1巻『友だち』より)	四日市市立三重小学校 4年2組 辻出美耶子先生 2025年3月10日
時間	学習活動	ツール／備考
4分	授業の目的を伝え、マンガを音読 <ul style="list-style-type: none"> 「今日は、みんなにいろいろな考え方を出示してもらいます。これが正解とか、間違いとかはありません。いろいろな考えを知るということを、今日は大事にしてほしい」 前方のスライドにマンガを投影(拡大し、1/2ページずつくらい) 子どもたちはスライドに集中 	スライド 
4分	感想をたずねる <ul style="list-style-type: none"> この話を聞いてどう思ったか、挙手して発表。出た意見を板書。 主な登場人物の顔を大きく印刷し名前を添えた切り抜きを、黒板に貼り、出た意見に該当する人物の横に書いていく 意見に対して、適宜誘導。「カオルは、まわりの人のことがきらいなのかな？」など 	板書 登場人物の 拡大切り抜き (黒板用) 
8分	ワークシートを配布／各自めあてと、自分の意見を記入 <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布。Bの吹き出しは「他の子どもさそってみんなで遊ぶ」、Cは「その他」にアレンジした、オリジナルのワークシート。 A、B、Cの選択肢を黒板にも掲示。 「めあて：自分の考えを伝えよう」を各自ワークシートに記入 「もし自分が主人公の立場だったらどうする？」を、理由とともに記入 先生は教室をまわり、各自の記入内容を確認。 	ワークシート(先生オリジナル/各自に配布) 黒板添付用のA～Cの選択肢 
12分	「自分が主人公だったらどうするか」を挙手して発表 <ul style="list-style-type: none"> 「友だちの意見に対して、疑問を感じたりしたら、どんどん質問などしましょう」 出た意見を、黒板のA、B、Cの該当部に板書。C「その他」の意見が多く出る。友だちの意見に対する質問や意見も多く出て、活発な意見交換が交わされる。 途中、先生からの導きや問かけ、近くの友だちと意見交換する時間もとる。 	板書
4分	「主人公(レイ)と一緒にいる時間をへらしたら、カオルはどう思うと思う？」と問う <ul style="list-style-type: none"> 席が近い友だちと話し合う → 挙手して発表。出た意見を板書 出た意見に対し、共感できると思う人に挙手してもらい、さらに意見を促す 	板書 
5分	「主人公2人ともが、いちばんすっきりできるような解決の仕方はあるかな？」と問う <ul style="list-style-type: none"> 今まで出た意見を、板書で振り返りながら、考えを促す 席が近い友だちと、1分間話し合ったあと、挙手して発表 	板書 
7分	解説ページの、とくに伝えたい部分を先生が音読後、まとめを記入 <ul style="list-style-type: none"> 「自分の体もそうだが、気持ちや持ち物、時間など、自分のものをどう使うかは、自分で決めていい」「自分のまわりに、自分とまわりを分ける境界線があるとイメージしてほしい」。この箇所をそれぞれ先生が音読後、かみくだいて、わかりやすく説明。 解説ページは、黒板のスライドにも投影 まとめをワークシートに記入。空欄になっている下線部に記入していく形式。 下線部に入る言葉をふくめて全体を読みながら、先生が解説。 	ワークシート(裏面に解説ページを印刷) スライド 
1分	ふりかえりを記入 <ul style="list-style-type: none"> ふりかえりを記入し、書けた人から提出 	ワークシート 